

全国月間火山概況

霧島山（新燃岳）では、30 日にごく小規模な噴火が発生し、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性がある判断して、火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）を発表し、噴火警戒レベルを 1（平常）から引き上げました。

2009 年 6 月下旬以降活発化した桜島の噴火活動は、同年 10 月頃から更に活発となっており、昭和火口では噴火の多い状態が続いています。国土地理院による GPS 連続観測では、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の膨張による変化が引き続き観測されていますが、2010 年初め頃から桜島島内においても伸びが観測されています。桜島では、火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）が継続しています。

諏訪之瀬島では、噴火が断続的に発生しました。火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）が継続しています。

4 月 8 日現在の各火山の噴火警戒報及び噴火予報等の発表状況は表 1 のとおりです。

表 1 4 月 8 日現在の噴火警戒報及び噴火予報等の発表状況

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル 3 (入山規制)	桜島
	レベル 2 (火口周辺規制)	浅間山、三宅島、霧島山（新燃岳）、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島
噴火警戒報及び火山現象に関する海上警報	周辺海域警戒	福徳岡ノ場
噴火予報	レベル 1（平常）	雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、岩手山、秋田駒ヶ岳、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、草津白根山、御嶽山、富士山、箱根山、伊豆大島、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（御鉢）、口永良部島
	平常	知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌブリ、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、倶多楽、羊蹄山、ニセコ、恵山、渡島大島、恐山、岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、鳥海山、栗駒山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳、高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、新潟焼山、妙高山、弥陀ヶ原、焼岳、アカンダナ山、乗鞍岳、白山、伊豆東部火山群、利島、新島、神津島、御蔵島、八丈島、青ヶ島、ペヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、西之島、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福徳堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島島、西表島北北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、挾捉焼山、挾捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

(火山の順は活火山総覧（第 3 版）による)



図1 噴火警報発表中の火山

【各火山の活動状況及び予報警報事項】

全国の主な火山の活動状況及び予報警報事項は以下のとおりです。その他の火山については、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

浅間山 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

山頂火口からの噴煙量は2010年1月初め頃から大きな変化はなく、噴煙高度は火口縁上50~200mで推移しました。

18日に行った現地調査では、山頂火口からの二酸化硫黄放出量は、一日あたり200~400トンと、2009年2月の噴火以降減少しており、2008年7月以前の状態に戻りつつあります。

火山性微動が4回発生しましたが、いずれも振幅が小さく、継続時間の短いものでした。

山体周辺のGPS連続観測では、2008年7月初め頃からみられていた深部へのマグマの注入を示す伸びの傾向は、2009年7月頃から鈍化し、最近はずかしく縮みの傾向が見られます。

浅間山では、今後も山頂火口から概ね2kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性がありますので、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。また、風下側では、降灰および風の影響を受ける小さな噴石に注意が必要です。また、火山ガス放出量の多い状態が続いていますので、風下側にあたる登山道等では、火山ガスに注意が必要です。

三宅島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

山頂火口からの噴煙高度は火口縁上100~200mで推移しました。

18日に実施した現地調査では、二酸化硫黄放出量は一日あたり900~2,000トン(前回2月8日、600~1,900トン)で、依然として多量の火山ガス放出が続いています。また、三宅村の火山ガス濃度観測によると、山麓で時々高濃度の二酸化硫黄が観測されています。

山頂火口直下を震源とする火山性地震は増減を繰り返しながらやや多い状態が続いています。

地磁気連続観測では、火山体内部の熱の状況に大きな変化はありませんでした。

GPS連続観測では、山体浅部の収縮がわずかながら継続しています。

三宅島では、山頂火口周辺(雄山環状線内側)に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があるため、山頂火口周辺では引き続き噴火に対する警戒が必要です。また、火山ガス予報で火山ガスの濃度が高くなる可能性がある地域では火山ガスに対する警戒が必要です。降雨時には土石流にも注意が必要です。

硫黄島 [火口周辺警報(火口周辺危険)]

独立行政法人防災科学技術研究所の観測によると、地震活動は落ち着いた状態で経過しています。また、国土地理院の観測によると、2006年8月以降みられている島全体の隆起を示す地殻変動は、現在は停滞しています。島内南北方向の伸びの傾向は継続しています。

硫黄島では、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されるので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では警戒が必要です。

福徳岡ノ場 [噴火警報(周辺海域警戒)及び火山現象に関する海上警報]

21日に第三管区海上保安本部が上空から行った観測によると、福徳岡ノ場付近で、複数の湧出点から長さ約2000m、幅約600mに広がる、灰色、乳白色、青白色の変色水域が確認されました。

福徳岡ノ場では、これまでも変色水や浮遊物が観測されており、2010年2月3日には小規模な海底噴火が発生しています。

福徳岡ノ場では小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では警戒が必要です。

霧島山(新燃岳) [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)] ←3月30日に噴火警戒レベルを1(平常)から引上げ

30日07時34分頃から火山性微動が観測され、08時00分頃から白色噴煙量が増加したことから、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があるためと判断し、09時10分に火口周辺警報を発表して噴火警戒レベルを1(平常)から2(火口周辺規制)に引き上げました。

同日、気象庁機動調査班(JMA-MOT)が九州地方整備局、宮崎県及び鹿児島県の協力を得て行った上空からの観測では、2008年8月22日の噴火で形成された山頂火口内のS-17火口周辺及び同火口から西約400mの範囲に少量の降灰を確認しました。

これらのことから、30日08時頃に2008年8月22日の噴火で形成された火孔からごく小規模な噴火が発生したと考えられます。新燃岳で噴火が発生したのは、2008年8月22日以来です。

新燃岳では、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があるため、火口から概ね1kmの範囲では大きな噴石に警戒が必要です。風下側では降灰及び小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。

桜島【火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）】

昭和火口では、噴火の多い状態が続いています。噴火が135回発生し、そのうち爆発的噴火は121回でした。これらの噴火に伴い大きな噴石が4合目（昭和火口から800～1,300m）まで達しました。

16日10時07分の爆発的噴火では、火砕流が火口周辺にとどまる程度（昭和火口の南東側500mの範囲）に流下しました。また、同火口では夜間に高感度カメラで確認できる程度の微弱な火映が、時々観測されました。

南岳山頂火口では、噴火は発生しませんでした。

5日、16日及び29日に実施した現地調査では、二酸化硫黄の放出量は一日あたり1,200～2,000トン（2010年2月：1,200～1,700トン）とやや多い状態が続いています。

国土地理院によるGPS連続観測では、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の膨張による変化が引き続き観測されていますが、2010年初め頃から桜島島内においても伸びが観測されています。

2009年6月下旬以降活発化した桜島の噴火活動は、2009年10月頃から更に活発となっています。今後、更に火山活動が活発化する可能性が高いと考えられるため、火山活動の推移に注意する必要があります。

昭和火口及び南岳山頂火口から2km程度の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。風下側では降灰及び小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。また、降雨時には土石流に注意が必要です。

薩摩硫黄島【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】

火山性地震はやや多い状態が続いています。

硫黄岳山頂火口の噴煙活動はやや高い状態が続き、噴煙の高さは火口縁上概ね200mで推移しました。

薩摩硫黄島では、硫黄岳山頂火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されるため、火口から概ね1kmの範囲では噴火に対する警戒が必要です。また、風下側では降灰及び小さな噴石にも注意が必要です。

口永良部島【噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）】

12日から新岳火口直下を震源とする火山性地震のやや多い状態が続いており、日回数が10回前後で増減を繰り返しています。地震の増加に際し、噴煙等の表面現象や、GPSによる地殻変動観測では特段の変化は認められませんでした。また、火山性微動はやや多い状態で経過しました。

その他の火山活動に特段の変化はなく、新岳火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、火口内では引き続き噴気がみられており、火山灰等の噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに対する注意が必要です。

諏訪之瀬島【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】

御岳火口では噴火が断続的に発生しました。爆発的噴火の発生回数は1回（2月：42回）で、前月と比べて減少しました。諏訪之瀬島では長期的にわたり噴火活動を繰り返しています。

火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いています。

諏訪之瀬島では、今後も御岳火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。また、風下側では降灰及び小さな噴石にも注意が必要です。

（火山の順は活火山総覧（第3版）による）

資料1 全国の火山の噴火警報及び噴火予報の発表状況のまとめ（平成22年4月8日現在）

(1) 主な活火山

	火山名	噴火警報及び噴火予報の発表状況	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
北海道地方	雌阿寒岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年9月29日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17日 噴火予報（平常） 2008年11月17日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年4月10日 噴火予報（レベル1、平常）
	十勝岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年12月16日 噴火予報（レベル1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	倶多楽	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	有珠山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年6月9日 噴火予報（レベル1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	恵山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
東北地方	岩木山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	岩手山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年10月27日 噴火予報（レベル1、平常）
	栗駒山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	吾妻山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	安達太良山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）
	磐梯山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）
関東・中部地方・伊豆・小笠原諸島	那須岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）
	草津白根山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2009年4月10日 噴火予報（レベル1、平常）切替
	浅間山	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月8日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月1日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月3日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年4月7日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	新燃焼山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	御嶽山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）
	白山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	富士山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	箱根山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）
	伊豆東部火山群	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	伊豆大島	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	三宅島	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年3月31日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	八丈島	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月1日 火口周辺警報（火口周辺危険）
福徳岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日 噴火警報（周辺海域警戒）	

	火山名	噴火警報及び噴火予報の発表状況	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	九重山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	阿蘇山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	雲仙岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	霧島山（新燃岳）	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月22日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月29日 噴火予報（レベル1、平常） 2010年3月30日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	桜島	火口周辺警報（レベル3、入山規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年2月3日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年2月20日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年4月8日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年7月14日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年7月28日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年8月28日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月3日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月19日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年3月2日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月10日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月24日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年7月19日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）
	薩摩硫黄島	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	口永良部島	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年1月25日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年9月4日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月27日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月18日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年8月4日 噴火予報（レベル1、平常） 2009年9月27日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年10月30日 噴火予報（レベル1、平常）
	諏訪之瀬島	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）

注）噴火警報及び噴火予報の発表履歴欄には、平成19年12月1日の噴火警報及び噴火予報の発表と噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示す。
この表では、主な活火山として、警報を発表している、または連続的に監視を行っている火山を示している。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルである。

（2）その他の活火山

以下の活火山では平成19年12月1日に噴火予報（平常）を発表し、その後、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌブリ、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、鳥海山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島	高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、焼岳、アカンダナ山、乗鞍岳、利島、新島、神津島、御蔵島、青ヶ島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、婿婦岩、西之島、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開開岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山